

|         |  |       |  |          |          |
|---------|--|-------|--|----------|----------|
| 研修タイトル  | <b>【サテライト】システム運用入門<br/>～運用起点でITサービスを考える～</b>   |       |  |          |          |
| 研修実施概要  | システム運用の必要性、作業項目、体制について、基本的な考え方を講義と演習を通じて学習します。演習では、日常的な題材を通して、システム運用を行ううえで必要な活動への理解を深めます。          |       |  |          |          |
| 研修コード   | S022/S023  | 実施開始日 | 2019年  | 5/17,7/9 | 1(日間)    |
| 目 標     | 1. システム運用の必要性、全体像が理解できる。<br>2. システム運用に関する作業項目、体制とそれらの関連が理解できる。                                     |       |  |          |          |
| 受講料(税抜) | ¥36,000  | 時 間 帯 | 9:20～17:00<br>(休憩1時間含む)  | 定 員      | 6名       |
| 前提条件    | 特になし   |       |  | ジャンル     | システム運用管理 |
| 実施内容    | 第1章 システム運用の重要性<br>業務とITシステムの関係<br>業務を取り巻くシステムトラブル<br>システム運用とは<br>第2章 主なシステム運用作業<br>システム運用を5W1Hで考える |       | 第3章 運用起点でITサービスを考える<br>「ITサービス」とらえる<br>「運用起点」で考える<br>システム運用が生み出す価値 |          |          |

|         |   |       |                         |      |              |
|---------|---|-------|-------------------------|------|--------------|
| 研修タイトル  | <b>【サテライト】システム運用におけるSLAの作成</b>  |       |                         |      |              |
| 研修実施概要  | システム運用のアウトソーシングにおけるSLA(提供するITサービスを定量的、定性的に定義した協定文書)の作成方法や改定方法を、説明と演習によって学習します。演習では、小売業のシステム運用管理の事例を題材とし、作成途中のSLAの修正や、SLAに従って測定されたシステム運用管理状況の分析についてグループ討議を行い、SLAの作成、利用に関する理解を深めます。 |       |                         |      |              |
| 研修コード   | S021  | 実施開始日 | 2019年                   | 8月7日 | 1(日間)        |
| 目 標     | 1. SLAを導入する目的を理解する。<br>2. SLAを導入する手順を理解する。<br>3. 要件に合わせてSLAを作成する。   |       |                         |      |              |
| 受講料(税抜) | ¥43,200   | 時 間 帯 | 9:20～17:30<br>(休憩1時間含む) | 定 員  | 6名           |
| 前提条件    | システム運用の知識、経験があること。  |       |                         | ジャンル | ITサービスマネジメント |
| 実施内容    | 第1章 システム運用管理の課題とSLAを導入する<br>目的について確認する<br>第2章 SLAを導入する手順を把握する<br>第3章 SLMにおける活動をする   |       |                         |      |              |

|         |  |       |   |              |          |
|---------|--|-------|---|--------------|----------|
| 研修タイトル  | <b>【サテライト】ビッグデータの基礎</b>  |       |   |              |          |
| 研修実施概要  | 現在、社会/ビジネス活動で発生する大量データを収集・分析し、新たなトレンド発見や新規ビジネス創出につなげる「ビッグデータ」が注目を集めています。このコースではビッグデータの特徴と、データの収集、蓄積、処理に関わる技術の概要を学習します。また、演習を通じて、自社におけるビッグデータ活用のイメージを持つことができます。 |       |   |              |          |
| 研修コード   | S052/S053  | 実施開始日 | 2019年   | 4/22、8/9(選択) | 1(日間)    |
| 目 標     | 1. ビッグデータの特徴と活用事例について説明できる<br>2. データ活用ためのプロセスの全体像を説明できる<br>3. データを分析する観点と手法について概要を説明できる  |       |   |              |          |
| 受講料(税抜) | ¥42,000  | 時 間 帯 | 9:20～17:30<br>(休憩1時間含む)   | 定 員          | 3名       |
| 前提条件    | サーバ、ストレージ、データベースなど、システム開発関連のキーワードについて用語集レベルの理解があること  |       |   | ジャンル         | システム基盤共通 |
| 実施内容    | 第1章 ビッグデータの概要<br>第2章 ビッグデータの活用シーン<br>第3章 社内データの活用<br>第4章 IoT(Internet of Things)<br>第5章 ウェアラブルデバイス<br>第6章 ソーシャルメディア  |       | 第7章 デジタルマーケティング<br>第8章 オープンデータ<br>第9章 ビッグデータ活用における課題<br>第10章 ビッグデータ活用のための ICTインフラ<br>第11章 ビッグデータの分析 |              |          |